

家庭内・性的暴力被害女性対応センターインフラ拡充計画

2002年10月17日、サンパウロ市ヴィラ・クレメンチーノ地区にある「エリアーニ・デ・グラモンの家」において、サンパウロ市に対して行われた草の根無償資金協力の改築及び機材の引渡式が開催されました。

サンパウロ市が女性局を通じて運営する「エリアーニ・デ・グラモンの家」は、1990年設立以来、家庭内・性的暴力の被害を受ける女性たちを迎え入れ、法的・人的権利に関する教育や意識化、傷ついた自尊心の回復のための精神的ケアを目的としたプログラムを提供してきました。サンパウロ市では、民間と市政府が一体となって女性問題に積極的に取り組んできており、「エリアーニ・デ・グラモンの家」の活動は、全国で同じ問題に苦しむ女性たちを支援する運動のモデルとして、その経験をシェアする活動も行っています。

式典には、マルタ・スプリシサンパウロ市長、マリア・ド・カルモ・ゴジーニョ・デウガード女性局長、アルダイーザ・スポサティ社会福祉局長、ジオルジオ・ロマーノ国際局長代理、「エリアーニ・デ・グラモンの家」グラジエラ・パヴェス コーディネーターとスタッフ一同、ヴィラ・マリアーナ分区ルイス・ロキ管理長、赤坂清隆総領事を始め4名の市議、サンパウロ州及び州外全8市の女性問題コーディネーター、女性関連団体、ボランティアが参加する中、にぎやかな式典となりました。式典では、最も古くから「家」でアテンドを受けてきた女性が被害者女性を代表し、また1981年に元夫に殺害され「家」の名前の由来となった女性歌手エリアーニ・デ・グラモンの姉妹であるエレナ女史が、市長と総領事から花束の贈呈を受けました。

式典に先立ち、改築された「家」の屋内において機材の除幕が行われ、また式典後には記念カクテルが催されました。女性を中心に多くが詰めかけた会場内には、日伯文化協会の講師による生け花が飾られ、賑わいに花を添えました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「家庭内・性的暴力被害女性対応センターインフラ拡充計画」

被供与団体：サンパウロ市

契約署名日：2002年2月26日

供与限度額：US\$41,095

案件概要：本件協力は、家庭内及び性的暴力の被害を受ける女性へのケアを目的にサンパウロ市が運営する「エリアーニ・デ・グラモンの家」の家屋改築及び活動に使われるOA、AV機器ほか各種機材・備品を購入する計画に対して行われました。

今回の協力により、スペースの拡大、設備の改善、及び各種プログラム実施と戦略的な活動計画の構築等に必要な機材が整い、より良いサービスを、より多くの女性たちに提供するとともに、その経験を全国の女性への暴力撲滅に関わる関連団体と分かち合うための環境整備が実現しました。



パソコンと周辺機器の除幕

(右から)赤阪清隆総領事、ゴジーンニョ・デウガード女性局長、マルタ・スプリシ市長



(右から)赤阪清隆総領事、ゴジーンニョ・デウガード女性局長、グラジエラ・パヴェス コーディネーター、マルタ・スプリシ市長



女性に対応する部屋



「エリアーニ・デ・グラモンの家」（手前の白い建物）